

■学会発表

5月21日(木)

【教育】

- 14:15-14:30 1D-01 大学院授業による展示改善 — 大学博物館における理解力と表現力の実践 —
○山田祥子・遠藤真貴・尾崎このみ・萩 勲・小西信義・蘇乙拉其木格・寺林暁良・佐々木亨（北海道大学文学研究科）・湯浅万紀子（北海道大学総合博物館）
- 14:30-14:45 1D-02 北海道大学教育 GP「博物館を舞台とした体験型全人教育の推進」初年度の取り組みの成果と課題
○湯浅万紀子・高橋英樹・天野哲也・齋藤貴之・館 亜古（北海道大学総合博物館）
- 14:45-15:00 1D-03 高等学校と教育連携した科学講座の取組
○宇田津徹朗、六車三治男（宮崎大学農学部附属農業博物館）
- 15:00-15:15 1D-04 研究博物館における主体的利用者としてのボランティア
五月女賢司（国立民族学博物館）

【マネジメント】

- 15:15-15:30 1D-05 来館者アンケートから読み取る企画展の傾向と特性
石田祐也・○小林快次・湯浅万紀子・大原昌宏・小俣友輝・内田智子・有馬理恵（北海道大学総合博物館）
- 15:30-15:45 1D-06 大学博物館のファシリティマネジメントに関する考察
○岡野 眞（香川大学工学部）・寺林 優（香川大学工学部・大学博物館）
- 15:45-16:00 休憩

【ポスター・マネジメント】

- 16:00-16:50 1D-07 地域における観光・教育資源としての大学博物館 — 入館者増の要因をアンケート結果から探る —
永廣昌之（東北大学総合学術博物館）

【ポスター・その他】

- 16:00-16:50 1D-08 台湾原住民関連資料の収集地における活用の実践をめぐって
野林厚志（国立民族学博物館文化資源研究センター）

5 月 22 日 (金)

【情報】

- 10:15-10:30 2D-01 サイエンス・ミュージアム・ネットによる科学系博物館のデータベース構築と活用
松浦啓一 (国立科学博物館標本資料センター)
- 10:30-10:45 2D-02 Digital Morphology のススメ
○佐々木 理 (東北大学学術資源研究公開センター)・岩下智洋 (ホワイトラビット)
- 10:45-11:00 2D-03 「IC タグ (RFID タグ) を用いた標本管理法の標準化と応用」プロジェクトその後
小俣友輝 (北海道大学総合博物館)
- 11:00-11:15 2D-04 QR コードを用いた標本管理について
豊田二郎 (大阪大学総合学術博物館)
- 11:15-11:30 休憩

【学術】

- 11:30-11:45 2D-05 *Taraxacum* 属植物を介したキャンパスサステイナビリティの展開
○岡田英孝・伊藤由樹 (大阪大学薬学研究科)・川瀬雅也 (長浜バイオ大学)・高木慎吾 (大阪大学理学研究科)・江口太郎 (大阪大学理学研究科・総合学術博物館)・高橋京子 (大阪大学薬学研究科・総合学術博物館)
- 11:45-12:00 2D-06 日本のアルキメデス・スクリュポンプについて
橋本博文 (新潟大学旭町学術資料展示館)
- 12:00-12:15 2D-07 明治期における音楽録音資料・蠟管 (ろうかん) の保存体制と公開手法の研究
松村智郁子 (東京藝術大学音楽学部 小泉文夫記念資料室)

【展示】

- 12:15-12:30 2D-08 展示活動における学術標本資料の活用と可能性 — 民博企画展「インド刺繍布のきらめき — バシン・コレクションに見る手仕事の世界」による実践的研究
上羽陽子 (国立民族学博物館文化資源研究センター)
- 12:30-12:45 2D-09 平成 20 年度におこなわれた東北大学総合学術博物館のミニ企画展「先史学フロンティア — 東北大学からの発進」展について
柳田俊雄・○小川知幸 (東北大学総合学術博物館)
- 12:45-13:45 休憩
- 13:45-14:00 2D-10 「モバイルミュージアム」プロジェクトの社会的インパクト検証の取り組み — 大学博物館における収蔵品流動化の意義 —
○寺田鮎美 (政策研究大学院大学文化政策プログラム)・東京大学総合研究博物館ミュージアム・テクノロジー研究部門評価班
- 14:00-14:15 2D-11 台湾におけるトラベリング・ミュージアムの実践
○落合雪野 (鹿児島大学総合研究博物館)・上まりこ (ウエマリコオフィス)・佐藤優香 (国立歴史民俗博物館)・久保田テツ (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター)

【地域と社会連携】

- 14:15-14:30 2D-12 大学博物館による地域研究の発信 広島大学総合博物館企画展「宮島の魅力」を通して
○石川菜央・岡橋秀典・清水則雄・橋本知佳（広島大学総合博物館）
- 14:30-14:45 2D-13 広島大学総合博物館における学生ガイドの取り組みについて
○山谷 義貴（広島大学総合科学部）・塚本俊明（広島大学地域連携センター）
- 14:45-15:00 2D-14 大学博物館を利用したハンディキャップを持つ子供たちへの教育支援活動の試み
○佐々木健志（琉球大学資料館）・大塚暁子（沖縄県立大平特別支援学校）・辻 瑞樹（琉球大学資料館）
- 15:00-15:15 休憩
- 15:15-15:30 2D-15 啄木の妻 節子の生家の井戸復元事業
○岡田幸助・宮本 裕・藁谷 収・竹原明秀・藤田公仁子（岩手大学ミュージアム）
- 15:30-15:45 2D-16 岩手大学ミュージアムにおけるボランティアの活動
○藤田公仁子・岡田幸助・宮本 裕・藁谷 収・竹原明秀・山本信次（岩手大学ミュージアム）
- 15:45-16:00 2D-17 歴史・文化資源を活かしたフィールド・ミュージアム化の実践
会下和宏（島根大学ミュージアム）

【その他】

- 16:00-16:15 2D-18 小規模な専門的図書室の管理―西宮市貝類館を例として
松隈明彦（九州大学総合研究博物館）